

令和3年8月25日付【日本下水道新聞】
 <産官学で展望討論>
 コンセッションがテーマ 事業企画の重要性強調

協 水
 コンセッション
 がテーマ
産官学で展望討論
 事業企画の重要性強調

全国上下水道コンサル
 タント協会（村上雅亮会
 長）は18日、インテック



ス大阪国際会議ホールで
 「下水道コンセッション
 を考えるシンポジウム」
 を開催（写真）。官民連
 携に関する産官学の第一
 人者らがコンセッション
 導入に向けた課題を共有

した。会場・Web併催
 で行われ、合計約350
 人が聴講した。

冒頭、村上会長は「下
 水道事業は人口減少社会
 の加速、老朽化対策への
 対応、多発する災害への
 備えと対応など、多数の
 課題を抱える中でDX、
 GXなど新たな社会ニ
 ズへの適応が求められて
 いる。そのためには民間
 側のノウハウに活路が拓
 かれており、その活用方
 法の一つが官民連携であ
 り、コンセッションはそ
 の典型例。コンセシヨ
 ン導入に至るには官と民
 が相互に理解と信頼を築
 き、積み重ねることが大
 事。今回のシンポジウム
 がその一助となれば」と

開催意義を述べた。

講演では日本大学生産
 工学部土木工学科の森田
 弘昭教授が「下水道コン
 セッションの現状と課
 題」と題し講演。森田氏
 はすでに着手している浜
 松市、須崎市での導入例
 や、導入検討が進む三浦
 市、宮城県（上下水一
 体型）など各事例の特色
 を解説した上で、コンセ
 ション導入のポイント
 に言及。デューデリエン
 ス（資産調査）の徹底や、
 事業範囲の中で要求水準
 を満たすためのメニュー
 ・手法を定める事業企画
 （企画調整）を立案・実
 行できる民間事業者を選
 定することの重要性など
 について言及した。

講演後には「下水道コ
 ンセッションへの期待」

をテーマにパネルディス
 カッションを企画。森田
 教授のほか、国土交通省
 下水道部、JS日本下水
 道事業団、メタウォーター
 1、水コン協、高松空港
 の関係者など官民連携の
 第一人者が集まり討論し
 た。高松空港常務取締役
 企画管理部部長の高田達也
 氏は高松空港におけるコ
 ンセッション導入事例に
 ついて情報提供した。そ
 の後、各パネリストが下
 水道分野のコンセシヨ
 ン導入に向けた課題や展
 望、民間の創意工夫とし
 てどのような事業企画が
 想定されるかなどについ
 て持論を展開した。